

歳末たすけあい運動「地域福祉支援事業」報告

東海小中学校区小域福祉ネットワーク

12月11日(金)いきいきセンター東海・海上で「ふる里の歴史を学び地区民との交流を図る会」が開催されました。参加者15名は、青柳至彦講師による養老川にちなんだ話に聞き入っていました。



ふる里の歴史講座と茶話会

村上地区75歳以上の高齢者210名を対象に、NW役員が自宅を訪問。ささやかな贈り物(入浴剤)を配りながら、生活状況や困りごとの把握を行いました。

国府小学校区
小域福祉ネットワーク

「ねえ、知ってた？」
緑の、なぜ青と違うの？
信号機の色は「赤とま
れ」「黄注意」「青進め」と
教わりますよね。
でも、あの進めの色は、
青ではなくてどう見ても
緑色です。
日本では、元々緑色とい
う概念は少なく、緑色の
ものを青ということが多
かったのだそうです。
「青葉」「青野菜」「青々
とした新緑」「青りんご」
どれをとっても緑色のも
のばかりですよ。
「こころ問題」
「みどりの黒髪」って緑
色なわけではないのに、な
ぜそう云うのでしょうか？
これは、新しく生まれ
た、みずみずしいものを
意味する形容で、新生児
をみどり児というのをも
のためなんですって！

皆様からの会費が地域福祉活動を支えています

地域住民の日常生活を支えるための **支えあい・助け合い** 活動の取り組みのために、社協では「会員制度」を設けて皆様の福祉活動への参加をお願いしています。

一般会費	町会(自治会)を通して皆様にご協力いただいています	一世帯 / 200 円
賛助会費	特に社協事業にご賛同いただける 法人・団体・個人の皆様からご協力いただいています	一口 / 1,000 円
特別会費	福祉施設や団体からご協力いただいています	一口 / 1,000 円

地区社協の中核を担う、小域福祉ネットワーク活動やサロン事業等に活用させていただきます。詳しくは市社協事務局・電話 24-0011 までお問合せ下さい。



晩秋の澄みきった青空に、大輪の花を咲かせる皇帝ダリアをこぞ存知ですか？
我が家の小さい庭に、三年ぶりにピンク色の見事な花が咲きました。残念ながらここの二年は、大風で折れてしまひ咲きませんでした。
皇帝ダリアは、周囲が落葉し、花が少なくなった寂しい時季に、家の二階よりも高くそびえ立ち、豪華な花を咲かせてくれる多年生植物です。
花言葉は「乙女の純潔」「乙女の真心」です。
かくいう私も後期高齢者。多発する自然災害に備えて、日頃よりご近所とのお付き合いを大切に、また町内会、小域福祉ネットワークなどの活動に積極的に参加するよう心がけています。
皆様はいかがでしょう？

編集後記

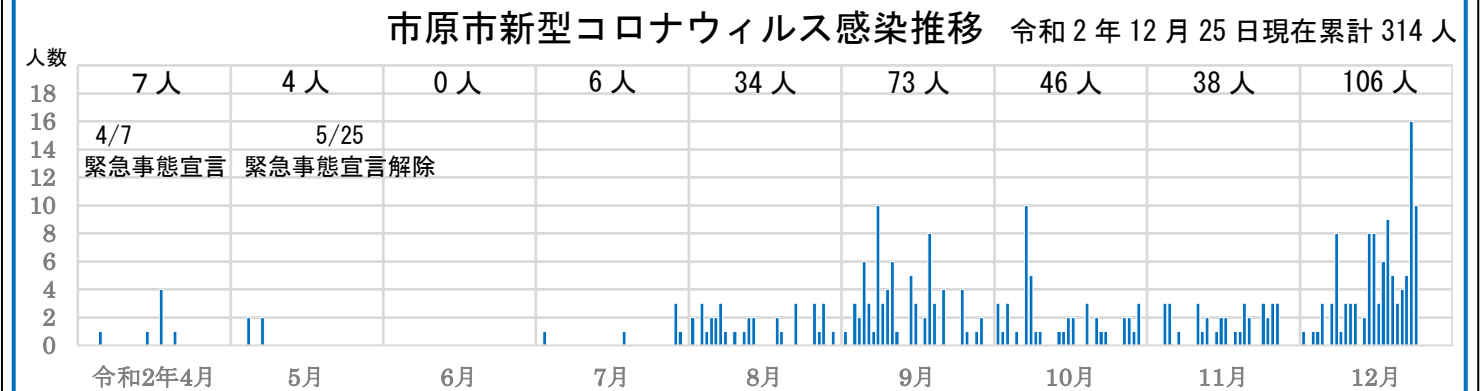
五井地区の人口
(12月1日現在)
総数 61,562 人
男 32,895 人
女 28,667 人
世帯数 30,405 世帯

つくし

編集：五井地区社協
総務局広報部
発行責任者：五井地区会長
岡田 廣 高
事務局：市原市社協
電話：24-0011

五井地区社協活動についてのお知らせ

日頃より地区社協活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当会では、新型コロナウイルス感染拡大(下図参照)の影響に鑑み、皆様の健康と安全を第一に考慮した結果、対外的な活動の一部を自粛(休止)させていただいております。皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、活動を再開する時には広報等でお知らせいたします。



● **子どもの笑顔が一番！「子育て会1・2・3」**は毎月開催しています。
事前の申し込みが必要です。お問合せは五井公民館 ☎(22)2121迄。

10月ミニ運動会

11月楽しくリズム遊び

12月クリスマス会



● **楽しい食事会！「ふれあいきいきサロン会食会」**
本年度(令和3年3月末まで)はお休みです。

● **一人で悩まないで！「あったか相談所五井」**
毎月第2木曜日10時～正午まで五井公民館研修室2で開設しています。
どんな困り事でも、お気軽にご相談下さい。

● **毎年恒例！「花いっぱい運動」**
今年も地域の小・中・高等学校や各ネットワークにチューリップの球根を配布。
地域全体を花いっぱいにするくします！来春が楽しみですね！！



[地域の見守りネットワークの構築にむけて！]

第2層協議体意見交換会開催

10月26日、11月17日の両日、五井公民館会議室を会場に、町会・民生委員・小域福祉NWなどの見守り活動について、活発な意見交換が行われました。

第2層協議体とは…

介護保険制度における市原市の取り組みで、2025年の超高齢化社会（団塊の世代が75歳を迎える）に対応するため、「介護予防」や「生活支援」の視点を取り込んだ、「地域全体で高齢者を支える仕組みづくり」を検討・協議する場で実践に移す役割を担います。

○ 取り組み目標

① 地域にある既存の見守り活動の把握

3つの圏域（1. 白金・五井・若葉 2. 東海・国府 3. 京葉・千種）毎に、地域の中で実施している見守り活動の洗い出しを行い整理・分析

② 地域資源の把握・整理、見守りを通じた課題解決の仕組みの検討

地域資源や既存のサービス等を取りまとめ、一覧表を作成
見守り活動を通じた相談機能（発見、繋ぎ）の検討

③ 団体における共通理解及び連携強化

互いに情報共有ができるような関係づくりの支援



東海・国府



京葉・千種



白金・五井・若葉

五井地区小域福祉ネットワーク連絡会議開催

11月19日、五井公民館会議室を会場に五井地区7つのネットワークから37名が集合「安心生活見守り支援事業」についての情報交換が行われました。

小域福祉ネットワークの交流、及び日頃の活動に関する情報交換を目的として毎年開催しています。

市原市の見守り支援事業は、訪問を希望する一人暮らしの高齢者や障がい者等の安否確認を行うものです。事業主体であるNWでは、研修を受けた安心訪問員が、月1～2回程度の見守りや声かけを実施しています。

連絡会では、見守り訪問時の注意事項や、活動の成果、課題などの実践発表の後、各ネットワークとの意見交換があり、今後の活動の参考となる会になりました。

実践発表



意見交換



コロナに負けない！ [元気で頑張っている方々を紹介します]

[更級公園・ラジオ体操クラブ]

元気と若さをいつまでも！毎朝25人が集合。



[谷島野ラジオ体操]

4人の少数精鋭ですが、毎日活動しています。



[谷島野ふれあい隊・通いの場]

毎週日曜の1時から3時までの2時間、脳トレ問題に挑戦した後で体操を行っています。



[君塚2丁目公民館・卓球を楽しむ会]

毎月第2・第4水曜日1時30分から。



[君塚中央公園・ラジオ体操]

体操後はウォーキング。10年以上続いています。子どもの登下校の見守りも行っています。



広報「つくし」は
下記の場所でも配布しています

- ・五井支所
- ・サンプラザ市原
- ・YOUホール
- ・中央図書館
- ・福祉会館
- ・五井公民館
- ・保健センター
- ・千種コミュニティセンター

